

# 真誠

学校だより  
No.10

西 東京市立  
田 無 小学校

平成 31 年  
2 月 1 日



## 思いやりの心を育てる

副校長 奥山 奈菜子

一月十九日(土) 学校公開の日に、道徳授業地区公開講座を位置付け実施しました。当日は三校時に全学級で特別の教科「道徳」の授業を公開しました。七百五十九名の保護者や地域の方にご来校いただきました。四校時には、元全国道徳教育研究会会長の馬場喜久雄先生をお招きし、ご講演をいただきました。

指導要領が改訂され、従来の「道徳の時間」が、特別の教科「道徳」として新たに位置付けられました。『道徳的価値を自分のこととして理解し、多面的、多角的に深く考えたり、議論したりする道徳教育への転換により、児童生徒の道徳性を育む。』と指導要領では示されています。他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育むため、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考え、議論する道徳」を実現することが求められています。

講師の馬場先生から、児童の思いや

りの心を育てるお話を伺い、私も思い出したことがあります。

立场上、色々な学年の保護者の方とお話をする機会があります。「楽しく学校へ行って欲しい」「お友達とうまくやっているのか心配です」「人に優しい気持ちで接する子になってほしいけど・・・」「自分の考えを相手に伝えられる子になってほしいのに・・・」等々、子育ての悩みを伺う機会も多々あります。それぞれのお家の方が、我が子の成長を心から願い、お話をしてくださいます。そのような場面では、できるだけ私も自分の子育てを思い出し、経験したことを基にお話をしていきます。また、今まで出会った保護者の方から伺った、子育てにまつわるエピソードなども交えてお話をすることにしています。

私は、子供が小さいとき、これだけは毎日続けようと思ったことがあります。それは、毎晩、必ず寝る前に、「生まれてきてくれてありがとう」と伝えてきました。小学校低学年の頃は、嬉しそうに「うん」なんて言っていました。が、高学年になってくると照れくさいのか「はいはい」なんて受け答えをすることもありました。中学生くらいになると、さすがに「分かっている」



なんて言いながらそそくさと自分の部屋へ行ってしまおう様子が見られ、私は密かに成長を喜んだものです。子供たちが大きくなり、最近はそのフレーズを言うこともなくなりました。が、節目の時などは思い出し、「母さんは、俺たちが小さかったとき、よく生まれてきてくれてありがとうと言っていたよね。大事にされているって子供ながらに感じていたから・・・」なんてことを言います。

クラスの子供たちもそうですが、子供は自分が愛されていることや、大切にされていることを、ちゃんと言葉や態度で感じるものだと思います。また、自分が大切にされている経験は、人に優しくしたり、人を思いやったりする気持ちにもつながると考えます。

私たち大人が子供たちを育んでいくとき、「思い」や「心」は目には見えませんが、そこから生まれる「思いやり」や「心遣い」を受けた人の変化により、人はその真意を知ることがあります。子供たちと日々ふれあう中で、自分も様々なことに気付かされ、成長させてもらっていると感じます。「育児」は「育自」とも言いますが、お家の方と一緒に子供たちの心を大切にし、思いやりの心を育てて参ります。

### 二月の主な行事予定

1	金	午前授業
2	土	学校公開三校時のみ・土曜時程 食育授業地区公開講座
4	月	児童朝会 委員会 避難訓練
5	火	はつらつタイム 安全指導 薬物乱用防止教室六 ㊦ ㊦
6	水	午前授業
7	木	社会科見学六
8	金	午前授業 短なわCP終
12	火	㊦ ㊦
13	水	午前授業
14	木	児童集会 新一年生保護者会
15	金	歯科衛生指導六
18	月	児童朝会 クラブ クラブ見学三
19	火	クラブ発表会三〜六
21	木	音楽集会
25	月	児童朝会 クラブ
26	火	㊦ ㊦
27	水	地区子ども会・集団下校
28	木	保護者会四五



※今月のスクールカウンセラー来校日は 7日、14日、20日、28日です。相談のある方は、来校日に直接又は、担任を通して申し込むか、来校日のAM9:00~9:20に463-5902(相談室直通)または学校に連絡してください。

## 四年生の様子



四年学年主任 大内

兄弟学級で行う、「はつらつタイム」や「子どもフェスティバル」で、四年生は初めてお兄さん、お姉さんとしての立場で二年生をリードして活動します。一学期はぎこちなかった四年生も、今ではすっかり上級生として毎月のはつらつタイムを進行しています。

また、遠足、社会科見学、緑のカーテン等、各種行事や学年としての活動を実行委員形式で進めてきました。四年生全員が一人一役、責任をもってみんなに声掛けをしたり、企画・運営をしたりしてきました。

友達同士のトラブルもありますが、それも大事な経験。「どうすればよかったのだろう。」とその都度考え、解決する力も付けてきました。

学習面でも、算数の言葉を使って自分の考えを説明したり、文章を根拠にして意見を述べたりと、考える力や他の人を納得させようとする力が少しずつ付いてきて、様々な面で、高学年に向けて成長している四年生です。

## 避難訓練

避難訓練担当 宮脇

今月の避難訓練は、掃除時間中に震度5以上の地震が起きた場合を想定し避難訓練を行います。ほうきやちりとりなどは、すぐにその場に置いて、安全な場所を探して、頭を隠して丸くなり、自分の身を守る姿勢をとることを事前に指導して行います。

これまでに月1回の避難訓練を実施してきました。地震の他にも給食室や理科室からの出火を想定した火事、不審者に教職員が対応する訓練も行ってきました。

「おさない」「かけない」「しゃべらない」「もどらない」の約束を守り、予告がない時でも、落ち着いて行動しようとする子供たちの姿が見られました。決して起きてはいけませんが、万が一起きてしまった場合に対応し、自分の命を守る行動ができるよう、今後も真剣に取り組みさせていただきます。

## 道徳授業地区公開講座

道徳担当 井上

田無小学校では「自らの課題をもって生活を切り開き、友達と力を合わせて、よりよい生活を向上させようとする心豊かな児童の育成」を道徳教育の目標とし、日々、教育活動に取り組んでいます。

今年度の道徳地区公開講座では、馬場 喜久雄様を講師に、「地域・家庭・学校で共に育てる思いやりの心」という演題でご講演をいただきました。「子供の思いやりの心を育てるためには、子供と対話することが大事である。くをしながらでなく、子供と向き合い、きちんと顔を見ながら話す。心に触れ合わせて子供が何を伝えたいかを読み取りながら、しっかりと話を聞き接することを大切にします。」ということをお話いただきました。

子供たち一人一人が、「自分はかけがえない存在だ。」ということを実感しながら過ごしていけるよう、改めてご家庭と連携しながら取り組んでいきます。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

## わかば学級の四季

わかば学級主任 田中

**春** 六名の可愛らしい一年生を迎え、進級の喜びとやる気に満ちた子供たちと共に新しい一年がスタートしました。六年生は最高学年としてわかばのリーダーとなり、様々な行事でわかばを支えていく一年になります。

**夏** 秩父の宿泊学習では、綺麗な青空と、澄んだ空気を満喫しながら宝登山の頂上を目指し、一生懸命登る姿を大変頼もしく感じました。

**秋** 展覧会では、一人一人が工夫を凝らし試行錯誤しながら、子供たちの純粋で素直な心があるまま表わされたような素敵な作品が並びました。

**冬** お楽しみ会は、高学年が司会やゲームの進行を担当し、保護者の方にもたくさんのご協力をいただいて、大成功に終わりました。

今年も、十二名の卒業生が、わかばの四季を経験し、立派に巣立っていきます。今後も、一人一人の素晴らしい可能性を信じて、子供たちの心に寄り添いながら支援をしていきたいと思っております。

《お願い》 春の訪れと共に、ご家庭での転勤等に伴い転出入の情報をちらほら耳にする時期になりました。各ご家庭に於いて情報がありましたら、「もしかしたら・・・」の程度でも構いません。学校へお知らせいただくと有り難いです。また、海外から帰国する情報等もありましたら併せてお知らせください。